

長崎大学の今を発信!

# Homecoming Day Press

Welcome Home to Nagasaki University Vol.4

ホーム  
カミングデー  
プレス Vol.4  
2013/11  
国立大学法人  
長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY



## 長崎大学 附属図書館

広く明るく多目的に  
使い方は学生次第

文教キャンパス内 ☎095-819-2193  
<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp>



**ま** ずは附属図書館(中央図書館)をご紹介します。今年四月にオープンした図書館は、文教キャンパスの新しいランドマークとして早くも存在感を示しています。これまで二階にあった入口は一階に移り、壁面はガラス張り。外の光を取り込んで明るい空間となりました。ゲートを入って左側に広がるギャラリースペースには、古写真コレクションのほか、企画展も実施しています。また、学生同士がディスカッションしながら自学自習できる広々とした空間「ラーニングコモンズ」も誕生しました。二階、三階の閲覧室は、椅子の間隔もゆったりめ。これまでよりも一〇〇席

### 地域から世界へ さらに高まる 長崎大学の存在感

長崎大学は三つのキャンパスとその周辺に、ここ数年で新しい施設を続々とオープンさせています。一般公開されている施設もあります。気軽に足をお運びいただき、学生と肩を並べて今のキャンパスの空気を楽しんでみませんか?

増えて、試験中でも読書や学習に集中できます。「資料の集め方がわからない」といった学生の相談にも気軽に応えられるサービスカウンターも充実しています。そのほか多目的ホールや庭を見下ろす新しいテラスなども配され、「知の貯蔵庫」という存在から、さらに広く自由にセンスを磨く場所として活用されつつあります。



## まだまだある 充実が進む大学施設



### 男女共同参画推進センター (おもやいセンター)

女性が働きやすい大学を目指して

文教キャンパスにある「おもやいセンター」は、大学の女性教職員を育児の面から支援しようという新しい仕組みです。2009年に行われた女性研究者支援モデル育成事業を礎に、学童保育「おもやいキッズ」や、おもやいキャンパスサポーター養成講座、ママの悩みに先輩が相談にのるメンターカフェなどの取り組みを通して、女性の社会参画を推進しています。

文教キャンパス内 ☎095-819-2889  
<http://www.cge.nagasaki-u.ac.jp>



### 言語教育研究センター

24時間オンラインの  
最新英語教育システムを導入

長崎大学のグローバル戦略の根幹をなすのが、言語教育研究センター。英語を自在に使うコミュニケーションできるスキルを身に付けるため、様々なプログラムを展開しています。なかでもCALLシステムは、学生が24時間いつでもオンラインで呼び出し学習できるという、最新のものです。継続と反復がカギとなる英語教育で活躍しています。

文教キャンパス内 ☎095-819-2077  
<http://www.gengo.nagasaki-u.ac.jp>



### 拱橋周辺整備

明治の石橋と桜並木の  
散歩道が誕生

片淵キャンパスの正門を入るとすぐの拱橋。1903年に架設された石橋で、長崎高等商業学校創立当時の貴重な構造物として瓊林会館と共に国登録有形文化財となっています。2009年に経済学部本館が全面改修されたのに併せて、この拱橋一帯も整備されました。橋周辺の配管類を撤去し、夕暮れにはライトアップもされます。橋からの桜並木には歩道とベンチを配し、美しい散歩道が誕生しました。

片淵キャンパス内  
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/katafuchi/>



### 国際交流会館 (留学生寮)

留学生の生活環境を快適に整備

留学生を増やしていくのは、長崎大学の今後の大きな目標の一つです。そこで、これまで手狭で老朽化していた留学生寮をリニューアル、2010年に鉄筋コンクリート造3階建てのA棟と、2階建てのB棟を新築しました。居室形態は4人用シェアルームのほか、家族室も完備。IHキッチンやバルコニーもあります。居住環境が整ったことで、より勉学にも集中できると留学生には好評です。

長崎市西町12-1  
☎095-845-0201 (本館管理入室)

### 編集後記 Homecoming Day Press

長崎大学の最近の大きな動きを特集して同窓生の皆様にお伝えすることを目的に「長崎大学ホームカミングデー・プレス」を編集・企画しております。今回は同窓生の皆さんに大学の新しい建物について紹介したいと思います。母校の今と往時の姿を重ね合わせて昔を懐かしみ思い出を新たにすることも、年に一度母校で開催されるホームカミングデーならではの楽しみです。

【編集・発行】 長崎大学広報戦略本部 全学同窓会支援室 TEL.095-819-2154 FAX.095-819-2156

E-mail / [kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp) URL / <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>



1階には吹き抜けのコリドールがお目見え。ゆったりとした空間ではときおりコンサートなども催されています。



# 長崎大学病院

## 10年計画で着々と整備 高度医療の拠点として さらなる高みを目指す

☎095-819-7200  
<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/>

〇〇五年から改修工事を始め、二〇一六年の完成を目指す長崎大学病院。現在、外来・研究棟や病棟など全体のほぼ四分の三が仕上がりました。歯科と医科の外来を一本化し、受付窓口も混雑緩和のための工夫がほどこされ、全体的にスムーズな診療が実現しています。動線を整備し、産科や小児科など関連のある診療科目をワンフロアにするなど、内部の配置も利用者目線で効率的に組みなおしています。また病棟は六

人部屋から四人部屋となり、プライバシーに配慮した個室も大幅増設。眺望の楽しめる談話室を各フロアに設けるなど、入院患者の生活空間を快適にする工夫が施されています。敷地の最奥部には二〇一一年に国際医療センターが完成。救命救急医療や感染症医療、緊急被ばく医療の三本柱を軸にフル稼働しています。病院では現在「新中央診療棟」の建設を行っており、高度医療の拠点を目指し最後の仕上げにかかっています。



2013年10月17日に行われた長崎創楽堂コンサートの様子。この日はバッハやベートーベン、ブラームスなどの名曲を楽しみました。

# 長崎創楽堂

## 地域に開かれた長崎大学を 体現する音楽ホール

文教キャンパス内  
☎095-819-2343(堀内研究室)  
<http://www.n-music.net/sougakudo/>



スタインウェイ・アンド・サンズのグランドピアノ。



椅子を片付けてフロア全体を使うこともできます。

二〇一二年六月には音楽ホール「長崎創楽堂」がオープンしました。文教キャンパスにある教育学部の音楽棟のリニューアルに合わせて新設したもので、収容人数は約一〇〇名。ステージの高さを十五センチに抑え、音が聴衆の耳に届きやすいように設計されています。また左右の音響パネルも手動で調整できるなど、使い易い工夫が随所に施されています。ス

テージに燦然と輝くスタインウェイ・アンド・サンズのグランドピアノも自慢の一つ。これは十八銀行から寄贈されたものです。来崎したプロの演奏家によるコンサートやワークショップ、学生の発表会などが定期的に催され、評判も上々です。運営責任者の堀内伊吹副学長は語ります。

「創楽堂ができたことで、地域の方々が気軽に足を運んで生の音楽を楽しんでいただいています。また運営に携わる学生にしてみても、プロの演奏家を身近に観察し、ときには共演させていただいたりして、いい刺激を受けているようです。」

「地域に開かれた長崎大学」を体現するような存在になりつつある、この創楽堂。一般の方にも気軽にご利用いただけますので、詳しくはお問い合わせください。

# 良順会館

## 日本の医学史を見渡せる ミュージアムとホール

坂本キャンパス内  
入場無料 開館 平日9時~17時  
☎095-819-7007

坂本キャンパスには、創立一五〇周年を機に建てられた良順会館があります。この建築は、二〇〇九年の長崎市都市景観賞を受賞しました。学会の研究発表や講演会などで利用されているボードインホールのほか、一階には創立一五〇周年ミュージアム近代医学資料展示室が設けられています。なかには、近代西洋医学教育の父ポンペの講義科目や松本良順の史料など日本の医学史を見渡せる貴重な展示物もあり、館の隣に残った被爆遺構であるゲストハウスともども、長崎市のまち歩きコース「長崎さるく」にも取り入れられています。



写真右/坂本キャンパスの正門入ってすぐ右手の白い建築物。見透せるよう、1階エントランスはガラス張りとなっています。左/近代医学資料展示室。日本の近代西洋医学発祥の歴史と、医学部150年の歩みを紹介しています。

# グローバル教育・ 学生支援棟

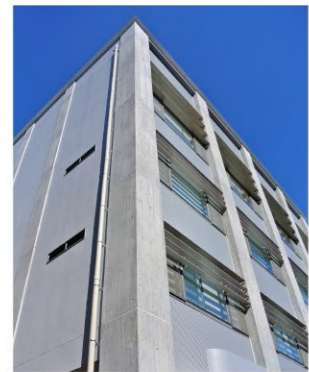
## 新しい教育の形を 各フロアで実現

文教キャンパス内



1階は学生支援センターほか、やってみゅーでスクの事務局もあります。

文 教 キャンパスの一面に今年度完成したのが「グローバル教育・学生支援棟」。四階建ての各フロアごとに機能が分かれており、一階は学生の課外活動、奨学金、授業料免除ほか学生生活の支援を行う学生支援センター。二階は留学生に関わる業務を束ねる国際教育リエゾン機構。三階には可動式の机や椅子、周りがホワイトボードというちよつと変わった教室があります。これはアクティブラーニングという学生参加型の授業のためのもので、座学スタイルだけでなく、グループになってプレゼンテーションやディベートの練習などをできるようにした最新のものです。



そして最上階には新しいホールが誕生しました。その名も「文教スカイホール」。モニター二台、大型ディスプレイ四台を設置。ステージが高めで客席から見やすいため、講義や学会はもとより、学生サークルの練習や発表にも使われています。二六二席と使いやすいくスケールで、今後の文教キャンパスのイベントでも活用が期待されています。